競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件　　名　庄内空港庁舎改修工事

開 札 年 月 日　令和8年9月16日　（ 落札決定日 令和8年10月8日　）

入札執行官署　東京航空局

落 札 金 額　￥ 67,100,000 －

落　札　者　株式会社佐藤組

予 定 価 格　￥ 74,272,000 －

積　　算　　額　￥ 74,272,000 －　　入札書比較価格（予定価格の100/110）　￥ 67,520,000 －

調 査 基 準 価 格　￥ 68,026,634 －　　調 査 基 準 価 格 の 100/110　￥ 61,842,395 －

基 準 評 価 値　148.104

低入札価格調査実施済　第１回　落札

入札参加者	評価点 (満点 121.5点)	第１回入札			第２回入札			摘　要
		入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	
株式会社佐藤組	109.5	61,000,000	179.508	○				第１回　落札
株式会社山口工務店	111.0	65,000,000	170.769	○				
株式会社マルゴ	104.5	62,800,000	166.401	○				
株式会社菅原工務店	102.0	64,300,000	158.631	○				
株式会社プランドシー	－	辞退	－					

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第３位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（１円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

評価点内訳 （ 施工能力評価型（Ⅱ型） ）

件名： 庄内空港庁舎改修工事

入札参加者	標準点	加算点					施工体制評価点			技術評価点
		技術提案	企業の施工能力	配置予定技術者の能力	賃上げの実施を表明した企業等	加算点の合計	品質確保の実効性	施工体制確保の確実性	評価点の合計	
(株)山口工務店	100	―	5.0	5.0	1.0	11.0	―	―	―	111.0
(株)マルゴ	100	―	0.5	3.0	1.0	4.5	―	―	―	104.5
(株)佐藤組	100	―	4.5	4.0	1.0	9.5	―	―	―	109.5
(株)菅原工務店	100	―	1.0	1.0	0.0	2.0	―	―	―	102.0
(株)プランドシー	100	―	4.0	4.0	0.0	8.0	―	―	―	―

低入札価格調査の実施概要

工 事 名 ： 庄内空港庁舎改修工事

調査を実施した業者名・住所 ： 株式会社佐藤組　山形県鶴岡市宝田２－９－７２

項　　目	内　　容
① その価格により入札した理由	同種工事の受注実績による経験から、労務費を含む直接工事費及び各諸経費の低減を図ることができることを提出資料及びヒアリングにより確認した。 また下請予定業者とは長年の付き合いがあり、技術者とのスムーズな連携により現場工期短縮ができ、コスト低減を図ることができることを提出資料及びヒアリングにより確認した。
② 契約対象工事付近における手持工事の状況	該当なし。
③ 契約対象工事に関連する手持工事の状況	該当なし。
④ 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等の関連（地理的条件）	当該工事場所と調査対象者の営業所が近隣にあり、仮設事務所等の設置が不要になるため、経費の削減ができることを提出資料により確認した。
⑤ 手持資材の状況	該当なし。
⑥ 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入予定業者とは長年の付き合いがあり、購入先として適切であると提出資料及びヒアリングにより確認した。
⑦ 手持機械数の状況	該当なし。
⑧ 労務者の具体的供給見通し	長年にわたり協力関係にある下請業者等を配置する予定としており、施工体制台帳から各工種別に労務者を適切に配置する予定であることを提出資料及びヒアリングにより確認した。
⑨ 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去に施工した工事を支障なく完了していることを、提出資料及びヒアリングにより確認した。
⑩ 経営内容	過去にも多くの官公庁発注の工事を受注しており問題無い。
⑪ １から10までの事情徴収した結果についての調査検討	調査の結果、低入札の原因は直接工事費の低価格が原因であるが、とりわけ、当局の積算と比較して乖離の大きい土工事費用部分においては、同種工事の受注実績が多く、労務費を含む直接工事費の低減を図ることができることが確認できており、問題なく施工可能であると考える。 また下請予定業者とは長年の取引があり、技術者とのスムーズな連携を取ることができるため、工期短縮や労務人工の低減によるコスト削減を見込むことができると判断した。 共通仮設費や現場管理費、一般管理費等についても安全対策等で必要な費用や法定福利費等が見込まれており、必要経費が適切に計上されていると考える。 以上の結果、契約の内容に適合した履行がなされない恐れがあるとは認められなかった。
⑫ 公共工事の成績情報	過去の実績において概ね良好に施工されている。
⑬ 経営状況	特に問題なし。
⑭ 信用状況	特に問題なし。
⑮ その他の必要事項	特になし。